

## 農業情報システム学分科会（第21期・第3回）議事要旨

日時：平成21年7月3日（金） 10:00～12:00

場所：日本学術会議6階 6-A（1）会議室

出席者：野口 伸（委員長）、澁澤 栄（副委員長）、野並 浩（幹事）、斎藤誠一（幹事）、  
大下誠一、大政謙次、木谷 収、木村俊範、古在豊樹、橋口公一、橋本 康、前川孝昭、  
町田武美、村瀬治比古

オブザーバー：池田英男、高山弘太郎、田中道男、仁科弘重、羽藤堅治、丸尾 達、吉田 敏

事務局：小川保彦

### 資料：

- 資料1 議事要旨（第21期第2回）
- 資料2 分科会ワーキンググループ「農林水産RS/GIS」
- 資料3 WG[知能的太陽光植物工場]の今後の進め方（案）
- 資料4 農業分野における情報科学の活用等に係る研究会の開催について
- 資料5 日本の展望委員会 今後の進め方等について（改定案）
- 資料6 サイエンスアゴラ2009への参画募集について
- 資料7 公開シンポジウム「愛媛から世界へ 農林水産学と社会貢献」
- 資料8 知能的太陽光植物工場シンポ参加者名簿  
農業情報システム学分科会名簿

### 議事：

1. 議事要旨（第21期第2回）が承認された【資料1】。
2. 斎藤誠一WG委員長から分科会WG「農林水産RS/GIS」の活動計画について提案があった【資料2】。審議の結果、WG委員、活動計画ともに承認された。今年12月にシンポジウム「持続可能な食料生産：RS/GIS技術の応用(案)」を開催するよう準備を進め、次回分科会において開催要領を審議することになった。
3. WG「知能的太陽光植物工場」について橋本 康委員から今後のWGの進め方について報告があった【資料3】。提言（対外報告）の作成に向けてWGが検討すべき課題などを確認し、今後もシンポジウムなどを開催することになった。特に「自動化」、「ロボット化」、「システム化」をキーワードとした活動を推進するために、清水 浩先生（京都大学大学院農学研究科教授）を分科会オブザーバ兼WG委員に就任いただくことが提案され了承された。
4. 午後のシンポジウム内容を概観するために古在豊樹委員から「なぜ、自然光（太陽光）植物工場なのか？ -その課題と展望-」について話題提供があった。
5. 現在農林水産省で進められている「農業分野における情報科学の活用等に係る研究会」について、澁澤 栄委員からその活動内容の説明があった【資料4】。
6. 学術会議が第21期中に策定を進めている「日本の展望」の進捗状況と農業情報システム学分科会の取り組みについて委員長から説明があった【資料5】。
7. 分野別委員会などに参画を募集しているサイエンスアゴラ2009（10月31日～11月3日）について委員長から説明があった。イベントなど企画したい場合は期限までに委員長に申し出てほしいとのアナウンスがあった【資料6】。
8. 7月18日に愛媛大学農学部において開催される日本学術会議主催公開シンポジウム「愛媛から世界へ／農林水産学と社会貢献」について紹介があった【資料7】。
9. 仁科弘重先生（分科会オブザーバ、WG委員）から午後開催の公開シンポジウムの参加申込み状況などについて報告があった【資料8】。
10. 次回分科会（21期4回）は10月2日（金）13:00～15:00。

以上